

2020 年度第 2 回定期自主検査指針・保安検査基準解釈専門分科会
議事録

1. 日時

2021 年 2 月 25 日（木） 18:00～18:30

2. 場所

Web 開催（CiscoWebex）

3. 出席者等（敬称略）

主査	渡辺 要（KW 保安管理システム研究所）
委員	志賀 啓介（レイズネクスト）、小森 一夫（三井化学）、飯田 正史（全国 LP ガス協会）、新津 賢二（東京都高圧ガス保安協会）
高圧ガス保安協会 （事務局）	小山田 賢治、加藤 一郎、畑山 和博
（欠席委員）	山本 和樹（ENEOS）、柄澤 直樹（太陽日酸）

4. 議題

(1) ドローン、ロボット、センシング、AI 等の新技術の活用に対する質疑応答の作成【審議事項】

5. 配布資料

資料 1 定期自主検査指針・保安検査基準解釈専門分科会委員名簿

資料 2 ドローン、ロボット、センシング、AI 等の新技術の活用に対する質疑応答の作成

参考資料 経済産業省のパブリックコメント資料

6. 定足数報告

会議開催にあたり、高圧ガス保安協会（以下、協会）より定足数の報告があり、委員数 7 名に対して、5 名の出席であり、定足数（委員数の過半数の出席）を満足している旨の説明があった。

7. 議事概要

7.1 議事(1) ドローン、ロボット、センシング、AI 等の新技術の活用に対する質疑応答の作成【審議事項】

資料 2 及び参考資料に基づき協会から説明があった。質疑応答の後、質疑応答案を書面投票に進めることにつき委員より了承された。

主な質疑等は以下の通り。

【7.1-1】

（委員）前回審議しその後制定された（回答番号 2020-1 の）目視検査へのドローン活用に関する質疑応答は、今回の質疑応答に上書きされる、ということか。

（協会）（回答番号 2020-1 の目視検査へのドローン活用は）直接目視に代えてカメラ等が使用できること、そのカメラをドローンに搭載できることが具体的に書かれている質疑応答であることから、そのまま残したいと考えている。

（主査）今回上書きするような文言は書かれていないので、前回の回答番号 2020-1 はそのまま存続し、今回の回答番号 2021-1 は新たな制定になることにならないか。

（委員）承知した。

【7.1-2】

（主査）前回説明のあったとおり、既存の質疑応答を整理する際に本件も併せて整理されたい。

(協会) 現在作業中。別でまた報告させていただきたい。

その他

本日の委員会の議事録は、今後メールにより承認を得た後、次回委員会を待たずに公開することが了承された。

以上